

三重県立看護大学 地域交流センター 令和6年度 教員提案事業

三重県立看護大学は地域貢献をその重要な使命のひとつとしています。
地域交流センターは、その役割を担う本学の中心機関であり、すべての教員がメンバーとなって、地域交流センターの事業を行なっています。
令和6年度は、下記のような事業を提案しております。
県民のみなさまのご参加をお待ちしています！！



事業の開催は、ホームページでお知らせします。
事業内容に関するお問い合わせは、各事業の連絡先へお願いします。

みえ保健・看護力向上支援事業（看護職対象）

| 事業名・連絡先（メールアドレス） | 概要 |
|---|---|
| 看護職者を支援する相談窓口事業 kimiko.nakanishi@mcn.ac.jp（中西） takako.ueda@mcn.ac.jp（上田） | 三重県内の病院看護部の管理部門を対象に、キャリア・看護管理、教育・進学等に関する相談に対応します。窓口の担当教員が電話およびメールで相談を受け付け、内容に応じて専門の教員（教育・心理・管理等）に引継ぎます。課題によっては、複数の教員で協力して対応します。また、社会的な背景から、病院看護部の管理部門が抱えていると思われるテーマを取り上げ、話題を提供するとともに、ディスカッションをする場を定期的に設け、組織内で解決するヒントとなるような機会を提供します。 |
| 実践につなげる フィジカルアセスメント ritsu.okane@mcn.ac.jp（岡根） | 本事業は、県内の認定看護師や呼吸療法士が講師を担い、現場のニーズに沿った「呼吸ケア」に関する研修を企画・開催します。年度ごとにサブテーマを設定し、講義やグループワークなどを取り入れながら、実践につなげる知識を習得できることを目指しています。 |
| 障がい児の切れ目ない就学支援事業 tsutako.miyazaki@mcn.ac.jp（宮崎） | 医療的ケアを必要とする子ども（以下、医療的ケア児）が在籍する特別支援学校・保育所・幼稚園等に勤務する看護職等の専門職は、配置される同職者が少なく、不安や戸惑いなどの困難感を抱えている現状にあります。本事業は、医療的ケア児に対応する専門職同士の情報交換や資質向上を図ることを目的とした交流の場づくりを支援します。 |
| 医療施設に広げよう 看工連携による特許の輪(その2) shin.saitou@mcn.ac.jp（斎藤） | 本事業は、地域の医療機関と連携して看護実践に便利で役立つ用品の開発を目的としています。本学教員が各医療施設のスタッフとブレインストーミングを行い、知的財産となり得るシーズを発掘します。ブレインストーミングで取り上げられた内容を各医療機関の院内研究として活用することも視野に入れていきます。 |
| シコウUpgrade0 －医療機関の高齢者看護 makoto.tabata@mnc.ac.jp（田端） | 高齢者は健康障害とともに生活することが多くなるため、医療機関の看護職者は、高齢者のもてる力に着眼し、望む生活を見据えた目標志向型思考を用いていくことが大切です。目標志向型思考で看護を展開するためのエッセンスを整理し、理解を深めることで、高齢者への看護のアップグレードを目指します。 |
| 仲間とともに育ち合う 教育実践講座 takako.ueda@mcn.ac.jp（上田） | 本事業は、後輩指導や学生指導など教育に携わる看護職者が、学びを通して教育能力を高めるための教育実践講座です。毎回テーマを決めて、調べる・作成する・実践するといった教育実践を行います。参加者全員がともに学び合うことで、自らの教育力を高めていくことを目指します。 |
| Brush UP ! 急性期看護 vol.2 ritsu.okane@mcn.ac.jp（岡根） | 三重県内における急性期看護の質の向上を目指して、県内の認定看護師（集中ケア・救急看護）が講師を担い、急性期看護に携わる看護師を対象とした研修を開催します。フィジカルアセスメントをはじめとする基本的な知識の習得を基盤として、アセスメントの言語化や教え方の学習など、臨床で役立つ学習の場を提供し県内の急性期看護の質の向上を目指します。 |
| 「心電図を読もう！基礎編」 yuki.sekine@mcn.ac.jp（関根） | 心電図の基礎に重点をおき、基本的な波形を理解し、臨床で遭遇する不整脈の判読を行い、日々の実践に活用できることを目指し事業を行います。本事業は、講義とグループワークをとおして学びます。そのため、集中治療室や循環器病棟といった部署を問わず、心電図に興味あるいは苦手意識のある方の参加をお待ちしています。 |
| 新任期保健師の災害時における 公衆衛生看護活動支援事業 yuko.nakakita@mcn.ac.jp（中北） | 新任期保健師（特に1年目）に対して、災害時における住民支援方法について知識技術の提供を行います。また、HUG（避難所運営ゲーム）を通じて、公衆衛生看護の実践能力の向上を目指します。 |
| 看工連携ものづくりシーズ発掘 (その2) yoko.ichikawa@mcn.ac.jp（市川） | 本事業は、看護実践において便利で役立つ、あるいは安全を確保するための用品の開発に向けたシーズ発掘を目的としています。本学教員が持っているシーズ発掘のためのブレインストーミングを年に6回程度行ないます。また、三重県内の企業との交流を深め、共同研究開発に挑戦します。 |

※裏面に続く